

めざす姿

## 共創でつくる活力と魅力にあふれた NEXT中国

### 策定の背景

- 国外・国内共に激しく変化する環境の中において、当地域が地域課題に的確に対応し、未来に向けて地域一体となって価値を創造し、新たな成長の道筋を歩むための方向性を示すことを目的にビジョンを策定する。

### 中国地方を取り巻く環境

人口減少・超高齢化という構造的課題に加え、不安定な国際情勢や脱炭素、デジタル技術の急速な進展といったリスクとチャンスが交錯する変革期にある。



### 中国地方が活かすべき特長

当地域には、強固な産業基盤や豊かな自然、知の集積といった多面的な「強み」や「ポテンシャル」がある。それらを有機的に結び付け、新たな価値を創造していくことが求められている。

- 1 日本の経済を支える産業基盤**
  - ・多様な産業集積と培われた高い技術力
- 2 多様な観光資源やコンテンツと食の豊かさ**
  - ・多様な観光資源やコンテンツ
  - ・海と山を活かした食の豊かさ
- 3 地域の特長を活かした知の集積**
  - ・大学・研究機関が持つ研究シーズ
  - ・研究成果を産業・地域課題解決に繋ぐ「社会実装力・技術応用力」のポテンシャル
- 4 多様な交流促進や安定した社会経済活動の基盤となる地理的ポテンシャル**
  - ・九州と関西という2大経済圏を繋ぐブリッジ（架け橋）& フィルター（集積地）
  - ・瀬戸内海と日本海という二つの海が提供する可能性
  - ・震災リスクが低くリダンダントな地域特性

### 取り組みの基本的な考え方

- 分散型地域構造の中で形成される多様な産業クラスターやコミュニティが多核連携型の発展を進める。
- 「蓄積された地域資源」「革新的な科学技術」「多様な人材」「地域の共創力」を推進エンジンとして「産業づくり」「地域づくり」「人づくり」の各取り組みを深化させる。
- 中国地方大の連携により、取り組みの効果的展開をはかる。

### 実現に向けた4つの推進エンジン



### めざす姿の実現時期 ～2040年頃～

- 2040年頃、我が国では高齢者人口がピークを迎えるとともに、2050年のカーボンニュートラル社会実現に向け、明確な道筋が必要となる。とりわけ、人口減少・高齢化が他地域に先行し、エネルギー多消費産業が集積する当地域にとっては大きなチャレンジ。
- 一方、飛躍的に進化するテクノロジーや価値観の多様化の社会浸透・定着が進み、これを大きな変革や成長に繋げていくことが期待できる時期でもある。

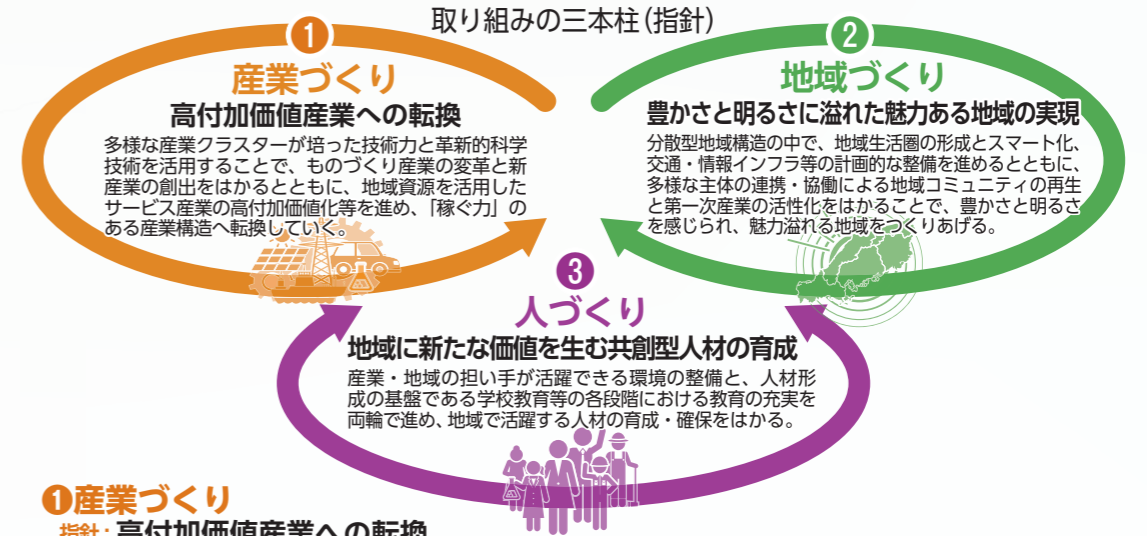
### 当経連の役割と取り組み

- めざす姿の実現に向けて、当経連は地域経済活性化の推進役として、3つの取り組みを中心に、めざす姿の実現に貢献していく。



### めざす姿の実現に向けた取り組みの方向性

取り組みの三本柱（指針）



#### ①産業づくり

指針：高付加価値産業への転換

- **ものづくり産業の変革の加速・イノベーションによる高付加価値化**
  - ・ AI、IoT等の科学技術の活用とDXの推進による生産性の向上と高付加価値化の推進
  - ・ GXの推進による、価格競争力とカーボンニュートラルを両立する構造転換の推進
  - ・ 中堅・中小企業におけるニッチトップ戦略、次世代に残すべき事業の円滑な承継
  - ・ 「共創・オープンイノベーション」のプラットフォーム構築
- **成長分野・新産業の創出と拡大**
  - ・ 成長分野の産業クラスター形成推進
  - ・ 大学発ディープテックを中心とした産学官等によるスタートアップ支援エコシステム構築
  - ・ 地域産業の国際競争力強化に向けた海外展開
- **サービス産業の生産性向上と高付加価値化**
  - ・ DXの推進による業務プロセス改革・サービスの質向上による第三次産業の生産性向上、付加価値の創出
  - ・ 「ウェルビーイング（暮らし）」と連動した産業創出の推進
  - ・ 瀬戸内・山陰等の地域資源とデジタル技術の相乗効果による高付加価値・体験型観光の創出
  - ・ 多様な地域資源の一体的な磨き上げによる新たな体験価値の提供

#### ②地域づくり

指針：豊かさや明るさに溢れた魅力ある地域の実現

- **分散型地域構造を踏まえた地域生活圏の形成とデジタル技術活用によるスマート化推進**
  - ・ 中核都市等を核とした生活機能の集約と地域特性を加味した有機的な地域生活圏づくり
  - ・ デジタル技術を活用した誰もが暮らしやすい生活環境の整備
- **産業・生活・交流を支える社会基盤整備**
  - ・ 広域交通網（高速道路・港湾・空港等）の強化
  - ・ DXの取り組みの基礎となるデジタルインフラの整備と活用促進
  - ・ 防災・減災インフラの計画的整備等
- **共創による地域課題解決・コミュニティ創造・活性化**
  - ・ 多様な主体の連携・協働による持続可能なコミュニティ運営モデル確立
  - ・ 地域コミュニティの活性化
- **第一次産業の活性化**
  - ・ 担い手確保と産業基盤の再構築
  - ・ 産業基盤整備による構造強化と生産性向上・高付加価値化
  - ・ 多面的機能を踏まえた第一次産業継続と地域コミュニティの維持

#### ③人づくり

指針：地域に新たな価値を生む共創型人材の育成

- **産業・地域を支える人材の戦略的な育成・確保**
  - ・ デジタル等専門人材の育成・確保
  - ・ 大学・高専・企業・行政等による実践的教育、リカレント教育・リスクリング等の充実
  - ・ 多様な人材（若者・女性・高齢者・外国人等）活躍に向けた環境づくり
  - ・ 地域外からの人材還流・移住、二地域居住を促す取り組み
- **地域の未来を担う若者の育成に向けた基礎教育の推進**
  - ・ 地域への誇りや愛着意識の醸成
  - ・ 中等・高等教育における問題発見力・課題解決力等の強化